

# 平成29年 水稲収穫後圃場管理のチェックポイント

- ・ 根雪前の圃場管理（ステップ1～3）で乾田化を徹底し、乾土効果を活用しましょう！
- ・ 来年に向けて、圃場整備と土壌診断（ステップ4・5）を実施しましょう！

## ステップ1 稲わらの搬出

- ◆ 稲わらは貴重な資源です。搬出して堆肥や飼料などに有効活用しましょう！（写真下）
- ◆ 稲わらの野焼きは、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因になります。絶対に行わないようにしましょう！
- ◆ 稲わら搬出は、いもち病発生圃場では菌密度を低減できます。

## ステップ3 心土破碎の施工

- ◆ 心土破碎は、「圃場が乾いている時にできるだけゆっくりと施工する」がコツです。



## ステップ2 溝掘りで表面排水の促進

- ◆ 溝は落水口につなぎ、表面水を圃場外に流すことが重要です！
- ◆ 表面水の除去により、圃場の乾燥が早まります。



## ステップ4 あぜの補修

- ◆ 冷害危険期に、最大20cmの深水管理ができるしっかりとした畦に補修しましょう！



## ステップ5 土壌診断の活用

- ◆ 高品質米の安定生産には、施肥の適正化が必須です。
- ◆ 過剰施肥をなくし、肥料コストを削減しましょう！
- ◆ 土壌分析は3～4年毎に行いましょう！



稲わらの搬出